

公益社団法人日本介護福祉士会  
平成 27 年度 認知症専門研修開催要綱（案）

1. 趣旨

介護福祉士の専門性を基盤として、認知症の人の生活の理解、医学的理解、心理的理解、コミュニケーション及び介護の基本・原則等に関する知識、技能を向上させ、認知症の人に対する生活支援の介護サービスの充実を図るために、本事業を実施する。

2. 開催日時（全 10 回、23 日間の予定）

第 1 回：平成 27 年 11 月 7 日（土）10：00～17：00

平成 27 年 11 月 8 日（日）10：00～17：00

※第 2 回以降は講師と調整中

3. 会場

日本介護福祉士会 2 階会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-13 西勘虎ノ門ビル 2 階

TEL：03-3507-0784

4. 研修時間

合計 300 時間 ① 講義及び演習 140 時間 ② 自職場実習 160 時間

※やむを得ない事情により欠席した場合、3 年以内に全科目を修了するものとする。

5. 受講要件

以下の 3 項目全てを満たしている者。

① 介護福祉士資格取得後 5 年以上の実務経験を有する者。

（実務経験は介護の業務とし、介護支援専門員、相談員等の業務は含まない。）

② 現に介護施設、認知症グループホーム、訪問介護事業所等で日常的に認知症ケアを実践している者。

③ 生涯研修制度に位置付けている「ファーストステップ研修」を修了している者又は生涯研修制度に位置付ける研修を 150 時間以上（100 ポイント以上）修了している者。

6. 受講定員

30 名（受講者の決定に際しては、日本介護福祉士会会員を優先させていただきます。）

7. 参加費用（資料代を含む）

・日本介護福祉士会会員 95,000 円

・その他 180,000 円

## 8. 修了者の到達目標

- ① 認知症の人の尊厳を十分に理解し、尊厳を支える具体的な介護ができる。
- ② 介護過程の展開を適切に行うことができる。  
(ニーズ把握、介護計画作成、実施、評価)
- ③ 自職場で部下や後輩に認知症とそのケアについて説明できる。
- ④ 自職場の認知症の人の介護についての課題を解決できる。

## 9. 研修内容

別紙参照

## 10. 修了認定について

日本介護福祉士会において、①研修修了後の認定試験、②自職場実習終了後のレポート（テーマは後日提示）によって修了認定を行い、修了者には日本介護福祉士会会長より認定証を発行する。

## 11. 申込方法

別紙申込用紙に必要事項をご記入のうえ、平成27年10月16日（金）までに都道府県介護福祉士会あてにFAXにてお申し込み下さい。

日本介護福祉士会にて受講者決定後、ご自宅あてに受講決定通知及び参加費用振込用紙を送付いたします。

## 12. お問い合わせ

公益社団法人日本介護福祉士会 事務局（担当：神田、金子）

TEL：03-3507-0784

FAX：03-3507-8810

MAIL：webmaster@jaccw.or.jp

## 9. 研修内容

日程	科目名	時間	主な内容	講師
11/7(土)	本研修を受講にあたって (オリエンテーション科目)	6	①研修のねらい、進め方 ②グループワーク方法論 ③事例のまとめ方	公益社団法人日本介護福祉士会 副会長 内田 千恵子 東洋大学社会学部社会福祉学科 助教 丸山 晃 氏
11/8(日)	認知症の人の生活の理解	6	①生活とは何か ②認知症が及ぼす生活への影響 ③環境が及ぼす影響	公益社団法人日本介護福祉士会 副会長 内田 千恵子
調整中	認知症の人の共感的理解	12	①認知症の本質と生きる意味の理解（スピリチュアリティ） ②同じ人として出会うために 1) 喪失体験の理解 2) 心身的状態の変調の理解 ③その人らしさについて	特定非営利活動法人ホッとスペース中原 代表 佐々木 炎 氏
調整中	高齢者のこころとからだ	18	①認知症を引き起こす疾病について ②認知症の中核症状、周辺症状 ③BPSD ④認知症の治療	社会福祉法人恵仁福祉協会 高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ 総合施設長 宮島 渡 氏
調整中	認知症の人の介護の基本、原則	20	①認知症介護の現状 ②認知症の人の尊厳と倫理 ③認知症の進行と状態に応じた具体的な介護 ④環境、関係を支援すること	医療法人弘遠会 企画調整室 教育研修部長 犬塚 久美子 氏
調整中	認知症の人の心理的理解とコミュニケーション	12	①認知症の人とのコミュニケーションとは ②様々なコミュニケーション技術 ③「気づき」と「ニーズ」について	大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 佐藤 眞一 氏
調整中	介護過程の展開	24	①介護過程の意義と目的 ②生活に視点をあてたアセスメント ③生活支援のための介護計画	東京福祉専門学校 介護福祉科 教授主任 白井 孝子 氏
調整中	サポートネットワーク	12	①介護保険制度と認知症の人の支援 ②認知症の人の社会的・地域的支援体制 ③医療・福祉との連携 ④家族への支援や関わり ⑤認知症の人の権利擁護	湘南ホームフレンド逗子居宅介護支援事業所 管理者 坂本 文典 氏
調整中	職員への教育方法	6	①職員教育の理論と実際 ②チームケアの理論	日本大学文理学部 心理学科 教授 内藤 佳津雄 氏
調整中	事例検討	24	①事例検討の方法 ②事例検討のまとめ方 ③事例検討の活用方法	日本大学文理学部 心理学科 教授 内藤 佳津雄 氏

平成27年6月11日

公益社団法人日本介護福祉士会

### 認知症介護の研修について

○認知症介護実践研修（認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修）については、都道府県の行う事業となっているが、都道府県からの委託等に当会支部の一部は研修の実施主体となっている。

- ・公益社団法人新潟県介護福祉士会
- ・一般社団法人富山県介護福祉士会
- ・一般社団法人石川県介護福祉士会
- ・公益社団法人大阪介護福祉士会

○また、今年4月には、厚生労働省老健局高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室から、「認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修事業への協力について（依頼）」の文書により、各都道府県と連携のうえ当該研修の実施主体として協力する旨の依頼があり、当会としても積極的に協力することとしている。

○介護福祉士のキャリアアップの一環として取り組んでいる「介護福祉士ファーストステップ研修」修了者を、認知症介護実践者研修修了者としてみなす「読み替え」の対象となっている支部もある。

- ・公益社団法人長野県介護福祉士会
- ・一般社団法人静岡県介護福祉士会
- ・一般社団法人愛知県介護福祉士会

※ともに平成26年度実績。

○各47都道府県支部で認知症介護についての研修を実施している。